

THE NORTH FACE CUP 2025

本戦競技ルール

■ 予選、準決勝について

予選 各カテゴリー10 課題

- ◆ U-8【1～10 番】
- ◆ W'sDivision4【3～12 番】
- ◆ U-10・W'sDivision3【6～15 番】
- ◆ Division5【8～17 番】
- ◆ U-12・W'sDivision2・Division4 【11～20 番】
- ◆ U-15W【13～22 番】
- ◆ Division3・W'sDivision1【16～25 番】
- ◆ U-15M【18～27 番】
- ◆ Division2 【21～30 番】
- ◆ Division1 【26～35 番】

準決勝 各カテゴリー8 課題

- ◆ U-8【1～8 番】
- ◆ W'sDivision4【3～10 番】
- ◆ U-10・W'sDivision3【5～12 番】
- ◆ Division5【7～14 番】
- ◆ U-12・W'sDivision2・Division4 【9～16 番】
- ◆ U-15W【11 番～18 番】
- ◆ Division3・W'sDivision1 【13～20 番】
- ◆ Division2・U-15M 【17～24 番】
- ◆ Division1 【21～28 番】

1. 各カテゴリーの競技タイムスケジュールで指定された時間内に課題（コース）をトライしていき、完登した課題数で順位を決定します。課題数は各カテゴリー予選 10 課題・準決勝 8 課題です。競技エリアは仕切られており、好きなエリアに並んでトライできます。*競技時間はカテゴリーにより異なります。
2. 課題のスタートホールドには番号が付いており、各カテゴリーで指定された番号の課題を登ります。各カテゴリーのトライする課題番号は、大会リアルタイムリザルトページに表示されます。
*リアルタイムリザルトは大会前に、
公式 instagram (<https://www.instagram.com/onebouldering/>)
にて発表致します。
3. スタートの条件は棒テープの張られたホールドに手足（手は手首より先、足は足首より先）の 4 点を置いた状態でスタート。スタートポジションに着く際に登る課題以外のホールドは使用してはいけません。使用してスタートしてしまった場合は、トライは無効となり並びなおしになります。条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。課題についての不明点は競技開始前にスタッフへお尋ねください。また、ハリボテにホールドがついて、そのホールドに直接ゾーンを印している場合は、ハリボテを保持しても有効となりません。ゾーンの印しているホールドを保持して有効となります。
4. 完登は TOP の表記をしてあるホールドを両手で保持した時に有効となります。
*必ずジャッジに完登の OK を確認してからおりてください。ジャッジの確認が取れていない場合は、完登とみなされません。ゾーンポイント（課題の中間ポイント*Z と表記）はゾーンがついているホールドを保持した時のみ有効です。（タッチや振られ落ちの場合認められません。）ゾーンポイントには Z①と Z②があり、Z①を使わずに Z②を保持した場合は、Z①も保持したことになります。完登した場合は、Z①と Z②を保持したことになります。なお、保持については TNFC2020 以降からオリジナルルールとして、ホールドの一部分を静止して指で触る状態をつくることができれば、保持とみなします。
5. 結果をリアルタイムに表示するため、ジャッペーパーを使わずに競技を行います。
受付の際に配布されるゼッケンを衣服に張り付けての競技となります。競技時は各エリアのジャッジにゼッケン番号とトライする課題番号を伝えてから登ってまいります。初日の予選に使用したゼッケンは翌日新たにゼッケン（番号同じ）を配布致しますので競技終了後にはがしてしまっても大丈夫です。

6. ジャッジに間違いがある場合は、①競技中の場合、登り終わった後必ずジャッジの結果を確認してその場でジャッジへ抗議をしてください。②競技後の抗議は、競技終了後の5分間のみ本部受付にてお受けしますが、映像など証拠となるものがない場合は受け付けません。映像を用意いただけない方は、トライ直後にジャッジに必ず確認をしてください。競技終了後の5分以内に抗議がなかった場合は正式リザルトとします。それ以降の抗議は無効となります。
7. 順位は完登数の多い順番で決まります。
完登数が同じ場合はZ②の数で順位をつけます。
さらに同着の場合は、Z①の数で順位をつけます。
8. 競技の制限時間内に壁にとりついている(スタートしている)場合は、最終トライは有効となります。
9. エリア間の境界線テープを越えて足を壁にスメアリングすることはOKですが、境界線を越えて手や足でカンテ・凹角を使用することは禁止致します。
また、壁の形状(カンテ、凹角)を使うことはOKですが、壁の末端を使うことは禁止します。リップは使用可能ですがその奥の壁の末端は使用不可になります
ハリボテ(形・素材は様々)は、コースで使用しているカラーホールドと同一カラーの場合、または同一カラーのホールドがついている場合使用可能です。
その他、取り付けに表示がない場合手足がふれることを禁止致します。デマケーションテープが貼ってある場所から、手足が出て壁に触れたり使用することは禁止です。
大会当日ご確認ください。
10. トライ中、登っている課題以外のホールドを使ってはいけません。
間違って使用してしまったり触れてしまった場合、
使用前のポジションに戻れたときは、競技をそのまま続行できます。
戻れなかった場合は、そのトライを中断してください。
その時点での高度まで有効となります。
11. クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらってください。
また、ご自身でブラッシングしたい場合はジャッジに声をかけてブラッシングしてください。
12. 壁のボルト穴を手で使用することは禁止と致します。

13. 競技中にホールドの破損又は回転などそのエリアが競技ストップしてしまった場合は、1回につき全体の競技時間を最大5分延長とさせていただきます。ホールド破損時にその課題をトライしていた本人を最優先で競技再開とさせていただきます。
14. ホールドが破損した場合、代替りのホールドを用意いたします。
チーフセッターの判断の元、コースの変化がない適したホールドを用意いたします。
15. 予選通過人数は上位順で以下になります。
U-8 (10位まで)、U-10(12位まで)、U-12W/M(10位まで)
U-15W(10位まで)、U-15M(10位まで)
Women's Division4(10位まで)、Women's Division3(10位まで)
Women's Division2(10位まで)
Division5(10位まで)、Division4(10位まで)
Division3(10位まで)、Division2(10位まで)、
Women's Division1(8位まで)、Division1(10位まで)
16. 翌日の準決勝で同着が出た場合は、本戦予選の結果をもとに順位を確定します。
(準決勝結果に反映されます) * Division1 男女は予選結果は適用されません
17. 全クラス準決勝終了後、正式に決勝進出者を発表致します。
名前を呼ばれた方はすみやかに指定した、
アイソレーションルーム(2F ボルダーエリア)に移動して頂きます。
アイソレーションクロズの時間はタイムスケジュールに記載されます。
クロズの時間になって現れない選手は失格となる可能性があります。
また、アイソレーション内へトレーナーの同行は可能ですが、選手同様にアイソレーション内へ入った場合は、自由な出入りはできません。アイソレーション外へ出た場合は、再入場はできませんので予めご了承ください。
また、**携帯電話等の電子機器類の持ち込みは可能ですが、基本的には利用を控えてください。決勝課題等の情報を入手するために、不正な利用がおこなわれたとスタッフが確認した場合は、失格となる可能性があります。利用したい場合は、事前にアイソレーション内スタッフへ許可の確認をお願いします。**
18. 次のセッションラウンドの選手は、競技エリア入場口からセッション終了後の選手が退場したのち、スタッフの指示に従って入場してください。

決勝について

- 1、決勝ラウンドは Division1/Women'sDivision1 のみサドンデス方式。
Women'sDivision1・Division1 以外は決勝オンサイト方式(1 課題のみ)となります。
決勝定員は準決勝結果の上位順で、
U-8 (3 位まで) 、U-10(3 位まで)、U-12W(3 位まで)、
U-12M(3 位まで)、U-15M(3 位まで)、U-15M(3 位まで)、
Women'sDivision4(3 位まで)、
Women'sDivision3(3 位まで)、Women'sDivision2(3 位まで)、
Women'sDivision1(6 位まで)、Division5(3 位まで)、Division4(3 位まで)、
Division3(3 位まで)、Division2(3 位まで)、Division1(6 位まで)
- 2、サドンデス方式とは(例)1 ラウンド 6 名→2ラウンド 4 名→3ラウンド 2 名→優勝
以上のようにラウンドが進むにつれて人数が減っていきます。
(各ラウンドの上位が次のラウンドへ)最終的には2人で対一の勝負となって優勝を決めます。
- 3、 決勝のオブザーベーションタイム 1 分間(各カテゴリーごとに)競技時間は2分。
Division1/Women'sDivision1 のみ競技時間は 3 分となります。
- 4、 競技時間内なら何度でも挑戦可能です。制限時間内に壁にとりついている場合はそのトライは有効となります。
到達高度が一番に優先され、到達高度が同じ場合はトライ回数で順位を決め、上位者が次のラウンドに進出(または優勝)。
到達高度にはホールドを保持した場合の「ノーマル」と、次のホールドを保持するために確実な動きをした場合の「プラス」があります。
- 5、 Women'sDivision1・Division1 以外のカテゴリーは、決勝ラウンドで同着の場合、準決勝結果をもとに順位を確定します。準決勝の順位も同着の場合は、さらにもう一つのラウンド(スーパーファイナル)で競技をおこないます。
スーパーファイナルで同着の場合は、同着での表彰となります。
Women'sDivision1・Division1 以外のカテゴリーは完登の場合でもトライ回数・準決勝結果が反映されます。

- 6、 Women's Division1・Division1 のカテゴリーは、決勝 1 ラウンド目で同着の場合、準決勝結果をもとに順位を確定します。
- 2・3 ラウンド目で同着の場合は前ラウンド結果をもとに(2ラウンド目の場合は、1 ラウンド目の結果を優先し、さらに同じ場合は準決勝結果から。
- 3ラウンド目の場合は、2ラウンド目の結果→1 ラウンド目の結果→準決勝の結果)順位を確定します。
- また、完登の場合のみトライ回数・準決勝結果に関係なく結果は 1 位となり、次のラウンドに進出できます。
- 上記の全てが同着の場合は、さらに4ラウンド目(スーパーファイナル)で競技をおこないます。
- スーパーファイナルで同着の場合(高度・トライ回数と同じまたは完登)は、前ラウンドの結果に関係なく同着での表彰となります。